

令和2年度 中丹広域振興局 重点目標

	重点事項	成果目標
1	<p>「育・職・住」が充実し若者が定着したくなる持続可能な地域づくりを進めます。</p>	<p>① <u>新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮しつつ、安心して子どもを産み育てることのできるまちは、全ての人にとって住みやすいまちであり、「子育ては中丹」ブランドの獲得を目指して中丹地域全体で子育てを支援する取組を進めます。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和2年2月に立ち上げた、子育て中の方をはじめ、子育て支援者・地域住民・企業・行政機関等が集う「中丹子育て未来づくり100人会議」（地域サミット）の企業WG、子育て支援WG等を中心に、関係機関・団体間の連携や子育てに関する課題や情報の共有、情報発信等の取組を展開するとともに、賛同者を拡げていきます。 <small style="display: block; text-align: right;">＜中丹子育て未来づくり100人会議の賛同者：150団体・人＞</small> ○ 地域サミットのもとで、子育てしやすい職場づくりに向けた企業向けのワーキングの開催や、子育てに不安を持つ親等へのサポート体制充実に向けた子育て世代包括支援センター職員、保育士、保健師、地域支援者等への研修会を開催する等、子育てしやすい地域づくりを進めます。 <p>② <u>新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえつつ、中丹地域での働き方・暮らし方を若者や移住希望者に広く発信し、若者の地元定着や移住の促進を図るとともに、「儲かる農林水産業」を推進します。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 高校卒業時に地域を離れる若者が多い中、高校在学中に魅力ある地元企業を紹介する出前講座や企業見学会を開催するとともに、地域で働く若者の働き方・暮らし方を広くWEBサイトで発信することにより、大学卒業時や結婚後のUターンも含めた若者の地元定着を進めます。 <small style="display: block; text-align: right;">＜出前講座の開催：3校、参加生徒：600人＞</small> <small style="display: block; text-align: right;">＜WEBサイト「わかもん」への年間アクセス数：8,000件、管内全高校生にWEBサイト案内配布＞</small> ○ 新商品開発や起業等の働く場づくりに繋がるよう、若者のフィールドワーク等を通じて発掘した地域の隠れた資源を「地域の魅力カタログ」としてとりまとめ、また、中丹地域の高等教育機関の研究内容と企業が持つ技術を結び付ける交流会を開催します。 <small style="display: block; text-align: right;">＜新商品開発アイデア交流会の開催：3回、参加企業：30社＞</small> ○ 移住希望者が移住体験にいつでも触れられるよう、移住者が営む農家民宿や飲食店を冊子等で紹介

令和2年度 中丹広域振興局 重点目標

	重点事項	成果目標
1		<p>するとともに、都市部で移住セミナーを開催する等、移住を促進する取組を進めます。</p> <p style="text-align: right;">＜管内3市の移住相談窓口を通じた年間移住者数：360人＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ブランド産品（万願寺甘とう・丹後とり貝）や茶・丹波くりなど、中丹地域の主要農産物についてのICT技術導入勉強会や新規生産者向け講座等を開催して生産量の拡大を図り、「儲かる農林水産業」を推進します。 <p style="text-align: right;">＜主要農林水産物の年間生産額：9.6億円＞</p>
2	<p>「もうひとつの京都」の推進による交流の拡大と関係人口を創出します。</p>	<p>① <u>POST コロナ時代の地域活性化に向けて、京都舞鶴港や「海・森の京都」の魅力ある地域資源、中丹地域の食などの特産品の魅力向上を通じた交流の拡大と関係人口の創出に取り組みます。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 京都舞鶴港のクルーズ客や船員の周遊促進・観光消費拡大のため、観光関係団体等と連携して、観光情報を一元化するとともに、観光プログラムや二次交通、キャッシュレス対応店等の案内情報を備えた情報提供サイトを開設します。 <li style="text-align: right;">＜開設サイトの閲覧者数：10,000人＞ ○ 大河ドラマゆかりの地ツアーなど、明智光秀を中心とした観光スポットや食などの発信等により、大河ドラマによる管内観光への波及や放映後の効果継続を図るとともに、自然を活かした「自転車」「カヌー」「トレッキング」体験コースの一元的な情報発信や、複数農家民宿による共同体験メニューの開発・ツアー商品としての売り出し等に取り組みます。 ○ DMO等と連携し、京都中丹認証ジビエをメインとした地域特産物とのセット商品開発やジビエフェアの開催を行うとともに、府内産食材を使用した加工食品の消費者視点による付加価値向上や新商品開発に取り組みます。 <p style="text-align: right;">＜「中丹いち推し商品」の選定・開発数：23点＞</p> <p style="text-align: right;">＜DMO等との連携強化による販売額の向上：2,000万円＞</p> <p style="text-align: right;">＜森の京都ジビエフェア出店数：45店舗、食数：1,200食＞</p>

令和2年度 中丹広域振興局 重点目標

	重点事項	成果目標
2		<ul style="list-style-type: none"> ○ 関係人口の獲得・拡大を図るため、管内3市や企業、学校等と連携し、中丹地域出身者をはじめ、ゆかりの方々に対して、子育て、働き方、移住、農家民宿、観光、地域情報等を分野毎に掲載する特設まとめサイトを開設します。 <div style="text-align: right;"><地域応援活動への参加者数：年間1,900人></div> ○ 人流・物流や広く地域の生活を支える主要幹線道路等の道路整備を進めるとともに、橋梁やトンネル等施設の安全を確保し、維持コストを抑えながら施設の長寿命化を講じます。 <div style="text-align: center;"><小倉西舞鶴線 [白鳥トンネル]、国道429号 [兵庫県丹波市青垣町中佐治～福知山市談]、 市島和知線 [福知山市三和町上川合～台頭] 等> </div> <div style="text-align: center;"><トンネルLED照明交換：国道175号 [地頭トンネル]、由良金ヶ岬上福井線 [大君トンネル] 等></div> <div style="text-align: center;"><点検橋梁：130橋、点検トンネル：13本、補修実施橋梁：16橋、補修実施トンネル1本></div>
3	<p>国土強靱化の推進による災害に強い地域づくりを進めます。</p>	<p>① <u>国・市とも連携し、森林から河口までの総合的な治山・治水・流域対策を推進するとともに、避難に関する住民意識の向上や地域ぐるみでの取組を支援する等、地域の災害対応力の強化を図ります。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国の由良川治水対策事業や市の下水道事業等と連携した河川改修や土砂災害事業、治山施設の設置や森林整備等、総合的な治山・治水・流域対策を進めます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 河川事業：8河川 相長川、大谷川、弘法川・法川、伊佐津川、高野川 等 ・ 砂防事業：13箇所 谷河川、万願寺川支溪、旭が丘川 等 ・ 急傾斜事業：6箇所、福知山市大江町三河、舞鶴市大波下、綾部市小西町 等 ・ 治山事業：9箇所 福知山市上下大内、舞鶴市上福井、綾部市今田町長源石 等 ・ 森林整備：間伐面積330ha 福知山市拝師、舞鶴市今田、綾部市下原 等 ○ 弘法川・法川流域で昨年度実施した森林、土地の貯留可能量等調査を高野川流域でも行い、関係者間で共有するほか、防災重点ため池現地研修会を実施し、豪雨時対策や日常の点検補修等の適正な管理を行うなど、地域全体での浸水対策を進めます。 <div style="text-align: right;"><研修会参加管理者：30組織></div>

令和2年度 中丹広域振興局 重点目標

	重点事項	成果目標
3		<p>○ 洪水時でも3市間の主要幹線道路のネットワークが確保できるよう、路面のかさ上げなど道路機能の強化を図るとともに、集落の孤立化防止のため、道路法面の崩落防止等の対策を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 路面のかさ上げ：国道175号〔福知山市下天津、舞鶴市小津田〕、舞鶴綾部福知山線〔福知山市川北～猪崎〕、舞鶴福知山線〔舞鶴市三日市〕 ・ 法面防災：小浜綾部線〔綾部市五津合町～旭町〕、田井中田線〔舞鶴市田井～栃尾〕 <p>○ 管内3市と連携し、危機管理型水位計に加え、路面冠水監視カメラ等の増設により、災害時の避難に必要な情報を迅速に提供するとともに、河川の洪水浸水想定区域図の作成・公表を進め、自主防災組織の避難行動タイムライン作成を促進します。</p> <p style="text-align: right;">＜路面冠水監視カメラの増設：6箇所＞ ＜洪水浸水想定区域図の作成・公表：川合川、友瀨川、八田川等 17箇所＞ ＜タイムライン策定組織数：186組織＞</p> <p>② 訓練実施や避難道路の整備等、万一に備えた原子力防災対策を充実します。</p> <p>○ 原子力災害発生時における広域避難計画の実効性を高めるため、PAZ地域（5km圏）で暮らす住民が存在していることを踏まえ、予防的避難の実施を含めた訓練を各市と連携して住民参画により実施し、住民理解を促進するとともに、緊急事態時に避難退域時検査場所で汚染検査等を行うことができる職員を育成します。</p> <p style="text-align: right;">＜訓練参加住民数：200人＞ ＜職員の育成数：30人＞</p> <p>○ 迅速・安全な避難のため、半島部や山間部など代替ルートのない路線における車両の離合困難な区間の道路整備を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 田井中田線、舞鶴野原港高浜線、名田庄綾部線、上杉和知線、舞鶴和知線 等